

KSKP



(平成22年3月) No.63

編集人

(社)兵庫県精神障害者家族会連合会

本條 義和

〒650-0004 神戸市中央区中山手通6丁目1-30  
社会福祉研修所4階

TEL 078-360-2618/FAX 078-360-2615

Eメール hyokaren@citrus.ocn.ne.jp

本年もよろしく  
お願い申し上げます

社団法人 兵庫県精神障害者家族会連合会  
会長 本條 義和

平成21年度は兵家連にとって創立40周年という大きな節目の年でしたが、夏には衆議院選挙が行われた結果、60年ぶりの本格的政権交代となりました。

兵家連は、重点的に取り組む事項として(1)家族会の活性化(2)精神障害者施策の向上(3)相談事業の充実(4)新規発症患者の家族教室(5)創立40周年事業の実施を掲げて事業活動を展開してきました。

このうち、創立40周年事業は、12月6日に、けんみんホール(県民会館9階)で、記念大会を催し、会員各位ならびに関係者各位のご協力により成功裏に終わることができました。また、県会議員精神保健研究会に引続き、神戸市にも議員連盟発足準備のご報告もできました。また間もなく創立40周年記念誌の発行を実施いたします。

相談事業では、兵庫県独自の県知事委嘱の精神障害者相談員制度が全国的にも反響を呼び、11月のみんなねっと全国大会で酒井常務理事が実践報告を行いました。また、日本財団の助成を受け6地区での家族相談リーダー研修も実施いたしました。

新規発症患者家族教室についても、先駆的な取り組みとして反響が大きく、大倉理事が近畿ブロック精神保健福祉家族の集いで発表いたしました。

以上のような実績はあったものの、家族会活性化、精神保健福祉施策の向上という課題はあまり進展しませんでした。そこで、平成22年度も引続き家族会活性化を中心とする以下の重点項目を掲げ事業・活動を推進して参りたいと思います。

- (1) 家族会の活性化(若い世代の掘り起こし、家族会間の交流による地域格差是正、相談リーダー研修の継続)
- (2) 精神保健福祉施策への働きかけ(保護者制度撤廃・障害者総合福祉法制定等の促進)
- (3) 精神障害およびその早期発見・治療に関する啓発
- (4) 「平成22年度近畿ブロック精神保健福祉家族の集い」の意義ある開催
- (5) 創立40周年記念誌の発行

本年も会員各位の積極的なご協力を得て、関係団体との緊密な連携を図りながら精神保健福祉向上にまい進して参りますのでご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

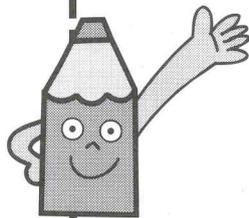
### 〈兵家連賛助会員募集〉

あなたのご支援で、兵家連は運営されています!!

年会費 団体の場合1口(10,000円)以上

個人の場合1口(3,000円)以上

振込先 郵便振替 01110-4-83568



平成21年度  
**第3回兵庫県障害福祉審議会**

11月26日(木) 午後2時～午後4時30分、兵庫県立ひょうご女性交流館で障害福祉審議会が開催され、ひょうご障害者福祉プラン～元気ひょうごの実現～について、(1)くらし・自立支援 (2)すまい (3)しごと (4)子育て・教育 (5)社会参加の5分野に分かれ分野ごとにワーキング会議を開催し検討結果を元に事務局がまとめた検討素案を審議しました。

兵家連からも本條会長が審議委員として出席し、「障害者の概念が変わってきており、個人因子と環境因子の相互作用となっているので、偏見差別も含めた環境を整えるという視点をもっと打ち出すべきだ。そのためにも義務教育段階からの精神疾患及び精神障害に対する教育を進めるべきだ。」との意見表明をしました。



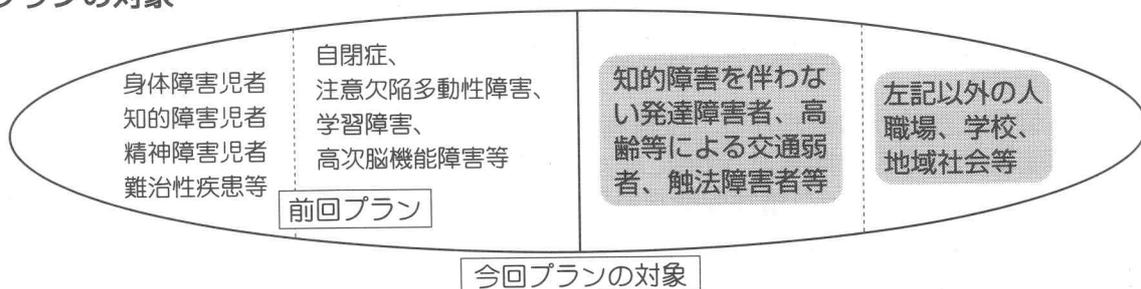
**1 プランの理念**

- ① 障害のある人が、自らの能力を最大限に発揮し、個性豊かに生きることの社会の実現 (自己実現)
- ② 障害のある人が地域の一員として当たり前暮らし、誰もがともに支えあう社会の実現 (共生)

**2 プランの視点**

- ① 障害のある人の人権を保障する体制をつくる
- ② 障害者が必要な支援を受けながら自分の生活を自分で決めることのできる社会をつくる
- ③ 障害のある人を取り巻く環境をかえることにより、誰もが生活しやすいユニバーサル社会をつくる
- ④ 高齢化や障害の多様化・重度化を支えていく社会をつくる

**3 プランの対象**



**精神科救急相談窓口の案内**

**精神科救急情報センター** 電話番号 **078-586-0600**

平日 午後5時～翌日午前9時 土曜日・休日 午前9時～翌日午前9時  
 (平日昼間は健康福祉事務所へ)

◆利用される場合は、氏名・住所・連絡先を対応職員に告げて下さい◆

# TOPICS

兵庫県下各地・各家族会から

## 苦悩する家族会に光が差し始めた神戸地区家族会!!

神戸市精神保健福祉家族会協議会 会長 涌波 和信  
(社)兵庫県精神障害者家族会連合会 副会長

神戸市長への要望書をはじめ神戸市内の6家族会が結集して作成いたしました。

その第一の要望は「家族会・当事者支援に関する要望」です。

- 1、今まで家族会は作業所の設置や運営に多大の貢献をしてきました。その家族会が法人化の波に押され目標を見失っています。また、高齢化やリーダー不在などがあって、家族会の存続が危ぶまれております。地域にある家族会を支援する機能を強化してください。
- 2、当事者の相互支援の場、社会的活動の場としての当事者会を支援してください。
- 3、精神障害者相談員の活用が十分なされてるとはいえません。市が主導して精神障害者相談員が活動できる機会と新規精神障害者相談員の拡充と養成をしてください。

その他、啓発・就労・医療費・退院促進に関する要望を加えました。

6家族会は、神戸の西からすいせい後援会（垂水区）、ひまわり家族会（須磨区）、兵庫みなとがわ家族会（兵庫区）、北家族会（北区）、中央区家族会（中央区）、木の芽家族会（灘、東灘区）です。6家族会のまとめが「神戸市精神保健福祉家族会協議会」(兵家連内)です。各家族会長が協議会の副会長です。

12月13日(日)の兵庫県委託事業である「新規発症患者の家族教室」(神戸地区)は上記6家族会が結集協力して開催され大成功でした。

統合失調症とうつの2グループ分けにて、あしたクリニック院長の千郷雅史医師とこうづきメンタルクリニック院長の上月清司医師がそれぞれの担当にて活発な質疑交換が行われました。新規発症で苦しむ家族が神戸市内各地から100名の部屋一杯集まり希望と心の安らぎの場となりました。

12月1日神戸市議員による第一回「精神保健福祉政策向上推進」準備世話人会が設立に向けてスタートいたしました。

11月27日民主党、公明党、自民党、自民神戸の4党派代表議員へ兵家連から涌波・喜田両副会長、酒井常務理事が神戸市会での精神保健福祉政策の推進の為の組織として議員懇話会等の設立と家族会に対する支援についての要望をいたしました。

各党派の準備世話人は、(民主、藤原武議員・大井議員)(公明、壬生議員・藤本議員)(自民、吉田議員・山口議員)(自民神戸、岡島議員・池坊議員)と決まり、準備代表世話人は(民主、藤原武議員)、準備副世話人は(公明、壬生議員)です。

全国の政令都市での市議員による「精神保健福祉政策向上推進」の設立は画期的なことです。

今後、神戸市内の家族会との交流にて精神障害者の実態を理解してもらい「疾病や障害があっても地域で安心して生活できる社会」を共に築きたいと思えます。

# 兵家連創立40周年記念大会

平成21年12月6日(日) 午後1時30分～4時、兵庫県民会館9階 けんみんホールで、兵家連創立40周年記念大会が盛大に開催されました。

## 主催者あいさつ

兵 家 連 会 長 本 條 義 和

## 来賓祝辞

兵 庫 県 副 知 事 吉 本 智 之  
神 戸 市 長 矢 田 立 郎  
(山本障害福祉部長 代読)

兵庫県議会議員 山 本 敏 信  
精神保健研究会代表世話人  
財団法人  
兵庫県精神科病院協会副会長 石 井 敏 樹

## 来賓紹介

## 感謝状贈呈

兵庫県議会議員精神保健研究会  
財団法人兵庫県精神科病院協会  
(社)兵家連顧問 西 浦 三 郎

## アトラクション

パフォーマンス(クラウン) かがやき神戸

## 講 演

演題：「これからの家族会活動」  
講師：川 崎 洋 子 (特定非営利活動法人  
全国精神保健福祉社会連合会理事長)

## 閉会あいさつ

兵 家 連 副 会 長 涌 波 和 信

式典後は、全国精神保健福祉社会連合会理事長川崎洋子氏が、「これからの家族会活動」との演題で、約1時間講演されました。

### ◆講演要旨◆

- 全国組織の理事長として、全国の家族会を回ってみて感じることは、本当に地域差があるということである。地域によっては、社会資源もなく、又、制度も知らないで、孤立している家族が多い。「みんなねっと」の購読者は、かつての「全家連」購読者3万人の半数に過ぎない。
- 家族の高齢化が言われているが、家族会に入っている家族が高齢化しているのであって、精神障害者の家族が高齢化しているのではない。若い家族が入ってくる家族会にしなければならない。精神障害のこと、又その家族のことを知らないのは、私たちが言ってこなかったからなので、みんなで声を上げていきたい。
- 家族以外の人への支援の大切さ、そして家族自身が楽しみを持つことの大切さ
- 政権交代があった今がチャンス等（障害者自立支援法の廃止、障害者総合福祉法の制定）

体験も交え大変示唆に富む講演でした。なお、「みんなねっと」が、啓発冊子の発行を進めていることも紹介されました。



PSW  
佐川芳朗

## 【本人の浪費で困っている ～日常生活自立支援事業について～】

この度ご相談頂いたご家族からの事例を取り上げたいと思います。  
尚、秘密厳守の立場から内容は若干変更させていただいております。

### 質問 相談者：当事者の兄 50代

40代の弟のことで相談です。もともと母親と本人の2人暮らしでしたが、母親の老人ホーム入所を機に一人暮らしを始めて約1年になります。心配はしているのですが、忙しい私は1ヶ月に一度本人に会うのがやっとで、その際に生活費を手渡しするようにしています。ただ、困ったことに、渡せば渡した分だけ一度に使い切ってしまうこともしばしばで、使い切ると私にお金の無心をしてきたり、ひどい時は、作業所の友人にお金を借りたりと周囲にも迷惑をかけることが続いています。これまでは、母親が毎日必要な分だけお金を手渡ししていたようなので、大きなお金を持つことに慣れていないことは理解できるのですが、ここ最近、弟の金銭の要求やトラブルに振り回されて疲れてしまいました。ただこのままでは、弟も友人を失くしたりして困るだろうと心配しています。

### 回答

ご兄弟の立場でご自身の生活もある中、本当に一生懸命ご本人のことを考えておられると思います。友人にお金を借りてトラブルになるなど、家族としては一番心配なことですし、ご本人にとっても反省すべきことでこれから取り組むべき課題ですね。そこで1つ制度の紹介をさせていただきますと、社会福祉協議会が実施主体になっている「日常生活自立支援事業」があります。これは、地域で生活する、判断能力に不安のある、精神障害者などを対象としたサービスです。例えば、通帳や印鑑を社会福祉協議会で預かり、金融機関での入出金・生活費手渡しなどをしてくれます。手伝ってもらいたい内容や、やりくりの方法をご本人・ご家族と一緒に考えてくれますので「1週間に一度ずつ生活費を分けて手渡してもらいたい」などの希望も相談できます。「本人のお金を家族が管理しないですむようになって楽になった」という声もよく聞きますよ。最後にお伝えしたいことは、病院のスタッフやご家族自身もそうですが、どうしてもご本人に目が行きがちで、家族自身のしんどさや健康がおろそかになりがちだということです。他に任せられる部分は他に任せて、家族自身が抱え込まず、少しでも安心したり余裕を持って生活できるように、主治医や作業所スタッフなどと一緒に考えていって頂きたいと思います。

兵家連では、平日の10:00～15:00まで匿名の電話相談をお受けしています。  
どうぞ遠慮なくご相談下さい(もちろん秘密は厳守いたします)。



## 精神保健福祉に関する電話相談

兵家連では、精神障害者に関する相談ごとについての  
電話相談を受付けています。

土日祝を除く10時より15時 ☎ 078-360-3610





## 第5回 兵庫県障害者福祉大会が開催される

～障害者芸術・文化祭～

平成21年12月13日、県、兵身協、育成会、兵家連の4者共催で表記大会が姫路市市民会館にて開催されました。今回は久しぶりに姫路市で多数の参加を得て盛大に開催されました。精神障害者の代表として赤穂仁泉病院、大植病院が出演し好評でした。また後半の精神障害者社会復帰支援活動表彰で以下13名と2団体が兵家連会長賞を受賞しました。おめでとうございます。(順不同、敬称略)

受彰者氏名	住 所	所 属
西 野 直 樹	姫 路 市	姫路北病院長
小 谷 麗 子	西 宮 市	多機能型事業「きらら」
宮 津 智 子	西 宮 市	地域活動支援センター「くりくり」センター長
島 田 美恵子	福 崎 町	NPO法人 峰の会作業所長
山 口 奈 理	宝 塚 市	社会福祉法人「さくらんぼ」理事長
大 上 敦 久	篠 山 市	多機能型事業「あかつき」所長
義 積 岩 夫	丹 波 市	木の根家族会
藤 田 初 子	丹 波 市	木の根家族会
川 上 彰 子	丹 波 市	木の根家族会
告 吉 健 一	姫 路 市	あおぞら家族会
久 保 由起子	たつの市	あおぞら家族会
三 木 豊	相 生 市	赤相みのり家族会
間 森 満	佐 用 町	NPO法人 あさぎり
精神保健福祉ボランティア「フレンド」	丹 波 市	(代表者) 大野 節子
財団法人 姫路十字会	姫 路 市	(代表者) 前田 直典

## 兵庫県障害者芸術・文化祭(作品展)の作品募集中

期 間／平成22年3月16日(火)～21日(日) 午前10時～午後5時 (最終日午後3時)

会 場／兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー本館

募集作品／絵画・書・写真・工芸その他

募集締切／平成22年2月26日(金)

問い合わせ／兵庫県健康福祉部障害福祉局障害支援課

電話 (078) 341-7711 内線3037

## 第58回 兵庫県社会福祉大会開催

平坂さん、おめでとうございます

平成21年10月27日たつの市総合文化会館「赤とんぼ文化ホール」において、兵庫県社会福祉協議会、たつの市、たつの市社会福祉協議会、兵庫県4者の協催で第58回兵庫県社会福祉大会が開催されました。

同大会では、社会福祉の向上に貢献された方々に対する表彰が行われますが、兵家連関係では、尼崎西家族会会長・平坂春雄氏が社会福祉協議会会長表彰を受賞されました。

平坂春雄氏は、平成9年以来兵家連理事として10年以上ご活躍していただきましたが、その間の精神保健福祉に対する多大な貢献により、このたびの受賞となりました。

## みんなねっと近畿ブロック家族精神保健福祉の集い

平成21年10月24日(土)午前10:00から、奈良県文化会館で、「家族による支援から社会による支援へもう限界です。助けてください」をテーマに、みんなねっと近畿ブロック家族の集いが開催されました。午前には、当事者による体験発表と京都のACT-Kを紹介したNHKのドキュメンタリー番組が上映されました。午後は、近畿各府県連から問題提起があり、その後フロアとの意見交換が行われました。

大阪から、状況悪化時における近隣関係について体験を交え問題提起がされました。京都からは、家族研究として専門職とともに精神障害者の家族のニーズ調査を行っていることが伝えられた後、兵家連からは、大倉理事が新規発症患者家族教室について、又滋賀県連から高齢の精神障害者向けの特別養護老人ホームを全国に先駆けて設置している法人について発表がありその後、和歌山県連から母親が統合失調の娘を殺害してしまった話などがありました。奥田奈良県連事務局長が閉会挨拶をしました。次回は兵庫県で開催予定です。

### 新規発症患者の家族教室

兵家連では平成19年度から県の委託事業として、標記の家族教室(主に講演会)を開催しています。この教室には今まで講演を聴く機会の殆どなかった多くの家族の方が参加し、またその中から家族会に加入されるという成果がありました。今後も当事業を継続していけるように県へも要望したいと考えます。

兵庫県の事業実施目的は「精神障害者の新規発症患者の家族は疾患理解が不十分で患者との良好な関係が保ちにくく再発・再入院や長期入院の一因となる。このことから新規発症患者の家族の教室を実施し疾患・障害の理解、家族の接し方等の普及啓発を行う」となっていますが、これに加えて兵家連は、この教室開催を通じて病気の早期発見と早期治療が少しでも促進され、また比較的年齢層の低い新しい方が家族会に加入されて家族会の活性化につながることは大きなメリットだと考えます。

平成20年度は、但馬・丹有・北播・阪神南・阪神北・東播・西播・中播・神戸の9地区19会場にわたって行い、延べ851人の参加、うち34人が家族会に入会されました。

今年度は、市政ニュースのほか一般の新聞などに予告記事を出し、行政からの周知協力を得るなど広報を工夫してさらに家族会入会者を増やしたいものです。(兵家連 大倉正也理事の発言要旨)

## 精神保健福祉の知識 (ひょうご人権ジャーナル KIZUNA 12月号より転載)

「心的障害者」のいま、これから

### 統合失調症の特徴と社会参加

NPO法人 芦屋メンタルサポートセンター理事長 寺内 嘉一  
寺内神経科診療所 院長

右記の「統合失調症の主な症状」を見ていただければ解りますが、「統合失調症」は「病気」の部分と「障害」の部分の併せ持つ2層構造になっているのが特徴です。病気の部分は医療で治療ができます。

問題は障害の部分です。障害の部分は医療だけでは無理で、行政の支援はもとより、家庭、学校、職場、地域住民の理解が不可欠です。具体的には「こころのリハビリ」と「経済支援」などです。こころのリハビリは、小規模作業所などの居場所をつくり、自宅での孤立からの脱出を図ります。そして、次に、作業所内で集団孤立に留まることなく、広く市民に近づき、語り合う共生社会をつくり上げることです。

(注)NPO法人AMSCでは障害を障碍と表記しています。

### 統合失調症の主な症状

#### 統合失調症の「病気」の部分

- 幻覚：主に幻聴
- 妄想：主に被害妄想
- 急性感情障害：興奮、拒絶など

#### 統合失調症の「障害」の部分

- 根気が続かなくなる
- 能率が低下する
- 仕事の要領が悪くなる
- 対人関係が苦手になる

## 第2回 全国精神保健福祉家族大会 みんなねっと長崎大会

10月29日(木)～30日(金)の2日間、長崎市の長崎ブリックホールで、「第2回全国精神保健福祉家族大会～みんなねっと長崎大会」が開催されました。「長崎から家族会活動の新しい息吹を」をテーマに全国から約1500名の参加者を得、盛大に開催されました。

1日目は早稲田大学人間科学学術院教授 田中英樹氏による「どうする、どうしたい、我が国の精神保健福祉」と題する基調講演と、東 俊裕弁護士による「障害者権利条約の批准に向けた課題」と題する記念講演がありました。

2日目は、5つのテーマごとに分かれた分科会で、兵家連の酒井常務理事が第4分科会(家族相談員研修会)の発題者の1人として兵庫県の相談事業について発表しました。

### 「第2回みんなねっと長崎大会に参加して」より一部抜粋

兵家連の電話相談事業はもとより、兵庫県の養成研修を受けて知事の「委嘱状」を頂いて地域の相談活動をしている事に注目を浴びました。又、家族が同じ立場で対等ということで相談を受ける、傾聴・受容・共感を基に悩みを聴くと言う事を基本に相談活動をしている、と言うことに質問もありました。これは相談を受ける者の大切な姿勢だと思います。私は家族であり同じ仲間である事、相談者とは対等であること。同じ立場でお話が聴ける。おこがましくも家族のプロですともいいました。家族相談員はたくさんの引き出しを持っていて、色々な相談に適材適所の紹介をするのも相談員の仕事です。

これからの多様化する福祉事業には相談活動は無くっては成らないものと思います。相談員は相談事業の充実をはかるためにも 相談員自身のスキルアップも大切な事です。又、この様な相談活動がある事を、家族相談員がいることを地域の方々に「どのようにお知らせするか」もこれからの課題の一つであり大切なことと思います。  
(兵家連常務理事 酒井文子)

## 台風9号被災義援金の募集と配分報告

兵家連では、大きな被害をもたらした台風9号による被害調査を行うとともに、義援金の募集を行いました。多くの会員各位から、心温まるご協力を頂きました。篤く御礼申し上げます。義援金をお寄せいただいた方は、以下の通りです。

10月27日(火)12時30分からあさぎり家族会事務局において、あさぎり家族会(山本蔚会長)および被災された家族会員6家族に対し、心からのお見舞いを申し上げるとともに、お見舞金を交付いたしました。

義援金合計 42万円 あさぎり家族会 12万円 被災家族1家族 2万円(合計12万円)

被災引き当て積立金 18万円

義援金拠出者(順不同・敬称略) あじさいの会・NPO法人明石ともしび会家族会・NPO法人居場所・芦屋家族会・NPO法人ぱれっとのじぎく工房・白ゆり会家族会・さぎ草家族会・ざくろ家族会・NPO法人中播磨峰の会・のぎく家族会・宍粟すぎの木家族会・なんたんひまわり家族会・西宮家族会・尼崎中央家族会・尼崎園田家族会・はとの会・尼崎東家族会・すぎな家族会・だるま家族会・心のワークセンター家族会・NPO法人えんじえる会・NPO法人くぬぎ・にじの会・木の芽家族会・尼崎北家族会・のじぎく家族会・赤相みのり家族会・木の根会家族会・しらすぎ家族会・むぎのめ家族会・すいせい後援会・篠山市精神障害者家族会みちくさの会・仲野紘介・細川秀夫・平坂春雄・辻征子・西浦三郎



「虎は何故縦じまなのか？」ということが話題になりました。「竹林でも目立たないように」だそうです。勇猛な虎ですが、干支の寅の本来の意味は、慎ましいという意味だそうです。今年も積極的な投稿をお願いします。(本條) 編集委員 涌波委員長・本條・米・久下・坂井

この機関紙は県の委託事業により作成されております

KSKP 一九八四年八月二〇日第三種郵便物 可 毎日発行 定価 五十円

発行人 関西障害者定期刊行物協会 / 大阪市城東区東中浜三丁目五十六 タイガーマンション一階 アド企画気付